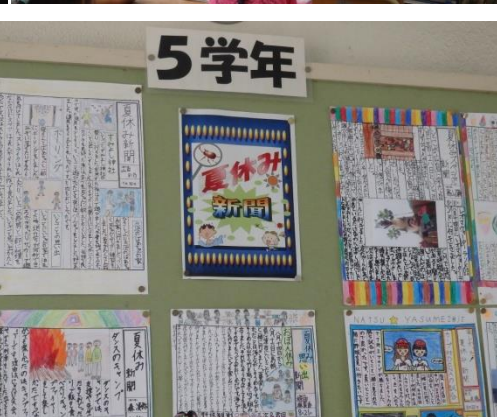
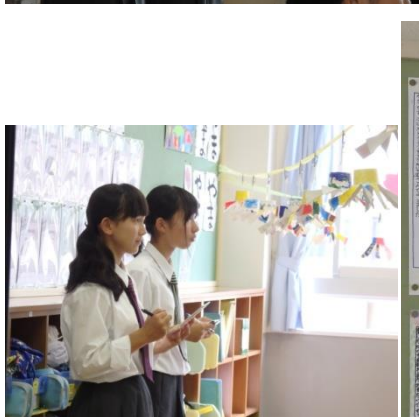
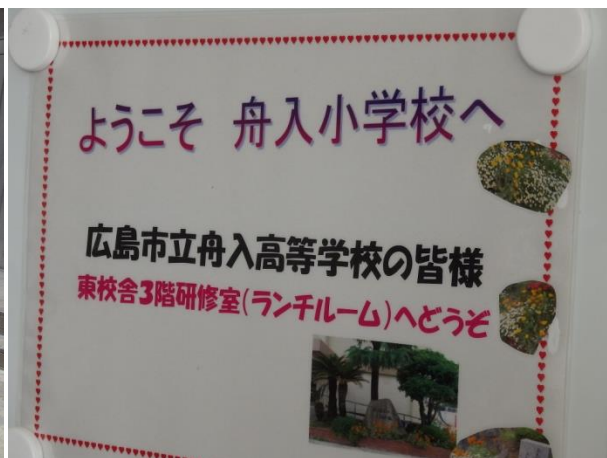


## 舟入小学校体験学習

9日7日（月）、「教員志望者対象の体験学習」として、広島市立舟入小学校を訪問しました。1年生27名、2年生4名の計31名が参加しました。

【出発前の諸注意 学校長より】

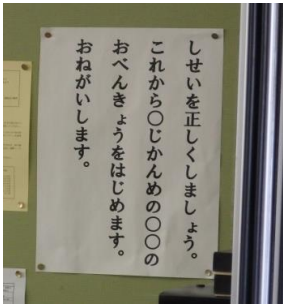
【玄関入り口にあった歓迎の掲示】



【整えられた掲示物】

【整頓された廊下のランドセル】

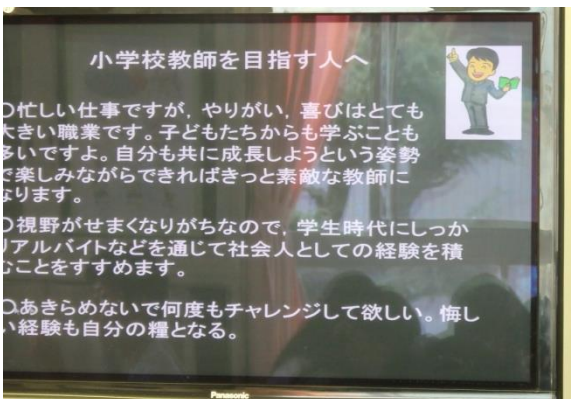




31名は、1～6年生のクラスにそれぞれ分かれ授業を見学しました。授業見学の後には、校長先生より1時間あまり講話をしていただきました。「教師になって嬉しかったこと」や「小学校教師の一日」、また「将来教師になろうとする人へのアドバイス」などについて、校長先生自らの体験を交え、わかりやすくお話しくださいました。

実際の授業を見学し、また講話を聴くことによって、生徒には様々な発見・気づきが生まれました。校長先生をはじめ、舟入小学校の先生方、児童の皆さん、本当にありがとうございました。生徒にとって有意義な経験になりました。

【校長先生の講話の様子】



## 【体験学習に参加した生徒の感想の紹介（一部）】

- 教師という仕事は苦勞が多いからこそ、大きな達成感を味わうことができるということを知りました。また、教師になるには、多彩な能力が必要となること、子どもの小さな変化に気づかなければならないことなどを肝に銘じてもう一度改めて教師という仕事を考えてみたいです。
- 先生の大変さを教えてもらった。様々な個性をもった子がいるので個々に応じた対応が必要になってくる。朝の挨拶運動に始まり、宿題のチェックなど、休憩時間に児童と一緒に遊ぶのが毎日ではできないとわかった。最近では地域の教育力が低下し、学校側に多くのことが求められていることもわかった。どの子に対してもすばらしいところを見つけ誉めてあげたいという校長先生のことばに感動した。
- 算数の授業であっても、字の書き方や発表の声の大きさなど、問題を解くだけの学習内容ではなく、国語、道徳などの要素もありました。うまくできた児童にはその度に誉めて、1人ひとりに違うことばをかけていたので、いつもよく児童のことを観察しているのだというのがわかりました。教材研究を夜遅くまでしているということは、これまで知りませんでした。今回の体験でより教師になりたいという思いが強くなりました。
- 子どもたちを育てることで、未来につながり社会貢献になるのだというお話が心に残りました。教員になるには、社会人として働き、マナーや道徳性を身につけて、「感謝の気持ち」を忘れず、人前に出て恥ずかしくない人間にならなくてははいけないと思いました。
- 確かに子どもが好きだけでは務まる仕事ではなく、自分を磨いていくことで、子どもに質の高い教育をできるのだと思う。優しいだけでなく、メリハリのある先生を目指したい。
- 教師の一日が紹介され、朝早く学校に来て児童を迎えたり、休憩時間に宿題の点検をするなど、見えないところの努力が大切だとわかりました。児童の変化に気づき対応することがその児童の人生を左右するかもしれないと思うと、教師の責任は大きいと感じました。
- 「左」と「右」の書き順の違いは知っていたが、詳しい理由までは知らず、今回とてもためになった。
- 授業の中で、「〇〇さん、いいですか?」、「みなさんが、〇〇さんだったらどうですか?」と聞いていて、人を思いやる気持ちを授業の中で育てているのだと感じた。先生たちの口調がやわらかくて、どの先生もゆっくりと話をしていた。クラスそれぞれに特有の「色」が感じられた。
- 校長先生が、わざわざパワーポイントを作ってくださっていて、とてもわかりやすくありがたかったです。私たち全員が参加できるよう、書き順を例に授業の難しさを示してくださったり、教師の悩みや、心がけなど、たくさんのメッセージを伝えてくださり、教師の大変さと楽しさが本当によく伝わりました。
- 授業の中で、1人も置いていられないような工夫がたくさんあることに気づきました。たとえば、発表する方を皆が見るように指示したり、教科書を読みながら教室を回ったりです。国語の授業で、大事な箇所に線を引くときの物差しの使い方が教えられていて、とても参考になりました。
- 小学校は、これから生きる上での最も基礎の部分に関わるので、教師としての自覚をもつことや、自分の行動を見返さなければいけないというお話がとても印象に残りました。責任感のある仕事だと改めて感じました。
- 黒板に「教室はまちがってもいい所、安心して発表しよう」と掲示され、子どものやる気、自信を引き出しているところがとてもよかった。たくさんの印象にのこることばから…「教員という仕事に限度はない」、「見守ることは難しい」、「すべての児童に確かな学力をつける」、「一日全てを子どものために 一日の行動を組む」
- 子どもによい影響を与えることができたり、子どもの成長を見ることができたりと、よい仕事だと感じました。
- 教員も学び続けることができるというのはとても大切だと思いました。
- 先生の仕事は、「授業」一つしかなく、忙しいとしても、児童が下校してからだろうと思っていましたが、息つく暇もなく仕事に追われていることがわかりました。
- 教師は簡単になれるものではないということはわかっていたが、なった後も難しいということがわかった。
- どの先生の顔も生き生きとして、誇りが感じられ、楽しんで仕事をしていることがよく伝わってきました。
- 膨大な仕事量、プレッシャー、ストレスを乗り越えれば自信につながるというお話が印象に残りました。